

＜安否確認の方法について＞

組又は自治会内での安否確認の方法については、次の参考例を参照していただき、地域の実情に応じて平時から連絡体制を確立するようお願いいたします。

停電又は混線により電話、インターネット等の通信網が使用できないときのために、対面式及び非対面式による訓練を行うとより安心です。

【安否確認方法の参考例】

No.	種 別		概 要	備 考
1	対面方式	訪 問	戸別訪問により安否確認を行います。 組長が組内を戸別訪問する方法と、組員が組長宅に訪問する方法があります。	組員が組長宅を訪問する方が効率的です。
2		集 合	事前に決めた組の避難場所に組員が集合し、組長が安否確認を行います。	戸別訪問より効率的に安否確認ができます。
3	非対面方式	電 話	既存の連絡網などを活用して電話連絡により安否確認を行います。	電話回線が使用できることが条件となります。 組員から組長へ連絡する方が効率的です。
4		電子メール、LINE など	電子メール又はLINEにより安否確認を行います。	通信回線が使用できることが条件となります。 予めメーリングリスト又はグループ LINE（一斉に連絡が取れる体制）を準備しておくことが便利です。
5		タオル又はカードなどを利用した安否確認	玄関先等の見やすい場所に「無事です」などを記載したもの（タオル、カードなど）を掲示して、安否確認を行います。 掲示していない世帯を確認することで、効率的に安否確認ができます。	タオルなど水に濡れても大丈夫なもの（黄色など目立つ色のもの）に「無事です」などのメッセージを油性マジック等で記載する必要があります。 使用済みタオル等を利用して事前に用意しておくことも可能です。 事前に掲示内容・方法を自治会内で決めておくことが必要です。